

NEWS

産業廃棄物処理業における リスクアセスメント研修会開催

本研修内容は、
協会 HP → 会員専用ページ
→ (一社)愛知県産業資源循環
協会 → 安全衛生委員会にて
視聴可能です。

- ・日 時：令和4年2月10日（木）
午前9時30分
- ・場 所：名古屋国際会議場
141・142会議室（名古屋市熱田区）
（YouTubeによるライブ配信併用開催）
- ・参加者：102名
（会場：19名 ライブ視聴：83名）

職場の潜在的な危険性又は有害性を見つけ出し、これを除去、低減するための手法としてのリスクアセスメントは、平成24年1月「産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント推進研修会」として毎年開催されてきましたが、令和3年の新型コロナウイルス感染拡大防止対策による緊急事態宣言の影響を受け、同研修会は中止となりました。以降、コロナ禍での緊急事態宣言が繰り返される中、本年は会場での受講とライブ配信による視聴での受講との併用開催となりました。

開会の挨拶で安全衛生委員長伊藤泰雄氏は「今年はコロナ患者の方が非常に多いのですが、感染予防措置をとり開催いたしました。労働災害を未然に防止する手段として本日の講習内容を会社の中で広めていただき、安全衛生の向上に努めていただきますようお願い致します。」と述べました。



開会挨拶をする
伊藤安全衛生委員長



研修をする安全衛生
エキスパートの山口講師

研修会の講師は、中央労働災害防止協会中部安全衛生サービスセンター 安全衛生エキスパート 山口好孝氏が登壇され、講義1では「産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメントの必要性」の中で、産廃業界における

労働災害の発生状況について、危険性又は有害性から労働災害に至る流れ、労働災害の発生と企業の責任等について説明がありました。講義2では「リスクアセスメントの基本と実施に向けて」の中で、リスクアセスメントの法的な位置づけ、リスクアセスメントの効果、導入、実施手順等が話され、「リスクアセスメントの体験」の演習では、リスクアセスメントの体験シナリオを基に体験のまとめを行いました。

閉会の辞で専務理事堀部隆司氏は「労働災害を減少するためにも本日の研修会の内容を社内において実践してください。」と述べ閉会となりました。



閉会挨拶をする
堀部専務理事

会場内はソーシャルディスタンスを保つため、通常3人がけの机に1名のみでの使用、扉は開けたままで、私語禁止等細心の注意を払い研修が進められました。

事務局のIT推進化による初のライブ配信にて、会場以外にも多くの会員の方が受講でき、コロナ禍に対応した大変有意義な研修会となりました。



(一社)愛知県産業資源循環協会 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修会
山口講師のライブ配信の画面



研修、及び研修のライブ配信の様子